

令和元年度病床機能報告の定量基準分析結果について

定量基準分析（埼玉方式）のあゆみ

平成29年度

- 7月 委託業者の公募・業者決定（みずほ情報総研）
- 8月～10月 データ分析方針の検討
- 11月・2月 「埼玉県地域医療構想推進会議」での分析方針説明・中間報告・意見聴取

平成30年度

- 4月 「埼玉県地域医療構想推進会議」での分析結果報告・意見聴取
- 5月 厚労省主催「地域医療構想に関するワーキンググループ」で事例発表
- 6月 厚労省主催「都道府県医療政策研修」で事例発表
- 8月 「地域医療構想調整会議の活性化のための地域の実情に応じた定量的な基準の導入について」通知 ※厚労省が各都道府県に埼玉方式の分析ツールを提供

令和元年度

- 2～3月 平成30年度診療報酬改定を踏まえた分析業務の委託（みずほ情報総研）

令和2年度

- 2～3月 分析業務の委託（みずほ情報総研）

埼玉県病床機能報告定量基準分析の枠組み

- 「ICU→高度急性期」「回復期リハ病棟→回復期」「療養病棟→慢性期」など、**どの医療機能と見なすのかが明らかな入院料の病棟**は、当該医療機能として扱う。
- 特定の医療機能と結びついていない**一般病棟・有床診療所の一般病床・地域包括ケア病棟（周産期・小児以外）**を対象に、具体的な機能の内容に応じて客観的に設定した**区分線1・区分線2**によって、高度急性期/急性期/回復期を区分する。
- 特殊性の強い周産期・小児・緩和ケアは切り分けて考える。

4 機能	大区分					
	主に成人		周産期	小児		緩和ケア
高度急性期	救命救急 ICU SCU HCU	一般病棟 有床診療所の一般病床 地域包括ケア病棟	MFICU NICU GCU	PICU	小児入院医療管理料1	
急性期			産科の一般病棟 産科の有床診療所	小児入院医療管理料2,3 小児科の急性期一般入院料1 小児科の一般病棟7:1		緩和ケア病棟 (放射線治療あり)
回復期	回復期 リハビリ病棟			小児入院医療管理料4,5 小児科の急性期一般1・ 一般病棟7:1以外 小児科の有床診療所		
慢性期	療養病棟 特殊疾患病棟 障害者施設等					緩和ケア病棟 (放射線治療なし)

具体的な機能に応じて区分線を引く

機能区分基準の考え方

- ① 病床機能報告のうち、主に「具体的な医療の内容に関する項目」のデータの中から、外科的治療・内科的治療・全身管理等の幅広い診療内容を加味して基準を構成。
- ② 区分線 1 のしきい値は、救命救急入院料やICUの大半が、高度急性期に区分される程度とする。
- ③ 区分線 2 のしきい値は、急性期一般入院料 1 の大半が、高度急性期・急性期に区分される程度とする。
- ④ 区分線 1・2 を設定した結果、高度急性期・急性期・回復期の 1 日あたり入院患者数が、「埼玉県地域医療構想における現在（2013年）の需要推計」との間に大きな齟齬がないか確認する。

ただし、実際には各病棟にはさまざまな病期の患者が混在する中で、病棟単位での集計結果に応じて区分するため、ある病棟が、わずかな機能の差によって、「急性期の病棟」に区分されたり「回復期の病棟」に区分されたりし、それに応じて「急性期の病棟の病床数」も大きく変わる。
区分線には「絶対の閾値」があるわけではなく、ある程度の幅をもたせて考えることが必要。

高度急性期・急性期の区分（区分線1）の指標

○救命救急やICU等で特に多く提供されている医療

- A：【手術】全身麻酔下手術
- B：【手術】胸腔鏡・腹腔鏡下手術
- C：【がん】悪性腫瘍手術
- D：【脳卒中】超急性期脳卒中加算
- E：【脳卒中】脳血管内手術
- F：【心血管疾患】経皮的冠動脈形成術（※）
- G：【救急】救急搬送診療料
- H：【救急】救急医療に係る諸項目（☆）
- I：【救急】重症患者への対応に係る諸項目（☆）
- J：【全身管理】全身管理への対応に係る諸項目（☆）

※...診療報酬上の入院料ではなくデータから特定がしにくいCCUへの置き換えができなかったこと、
経皮的冠動脈形成術の算定が一般病棟7:1よりもICU等に集中していることによる。

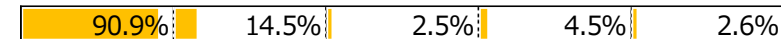
☆...機能報告のデータ項目のうち、救命救急やICU等で算定が集中しているものに限定。

→ これらの医療内容に関する稼働病床数当たりの算定回数を指標に用い、しきい値を設定。

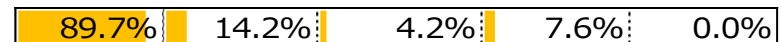
区分線 1 で高度急性期に分類される病棟の割合（令和元年度報告）

区分線1で高度急性期に分類する要件			しきい値		該当する病棟の割合				
			稼働病床1床当たりの月間の回数	40床の病棟に換算した場合	救命・ICU・SCU・HCU	急性期一般病棟1,一般病棟7:1(※)	左記以外の病院一般病棟(※)	有床診の一般病床(※)	地域包括ケア病棟
手術	A	全身麻酔下手術	2.0回/月・床以上	80回/月以上	43.2%	2.1%	1.1%	2.3%	0.0%
	B	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	0.5回/月・床以上	20回/月以上	20.0%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%
がん	C	悪性腫瘍手術	0.5回/月・床以上	20回/月以上	25.3%	2.4%	0.0%	0.8%	0.0%
脳卒中	D	超急性期脳卒中加算	あり	あり	22.1%	0.3%	0.0%	0.0%	算定不可
	E	脳血管内手術	あり	あり	27.4%	1.6%	0.5%	0.0%	0.0%
心血管疾患	F	経皮的冠動脈形成術	0.5回/月・床以上	20回/月以上	22.1%	1.3%	0.5%	0.8%	0.0%
救急	G	救急搬送診療料	あり	あり	13.7%	1.3%	0.5%	0.8%	算定不可
	H	救急医療に係る諸項目（下記の合計） ・救命のための気管内挿管 ・体表面・食道ペーシング法 ・非開胸的心マッサージ ・カウターショック ・心膜穿刺 ・食道圧迫止血チューブ挿入法	0.2回/月・床以上	8回/月以上	55.8%	2.4%	0.5%	0.8%	0.0%
	I	重症患者への対応に係る諸項目（下記の合計） ・観血的肺動脈圧測定 ・持続緩徐式血液濾過 ・大動脈バルーンポンピング法 ・経皮的心肺補助法 ・人工心臓 ・頭蓋内圧持続測定(3時間超) ・人工心肺 ・血漿交換療法 ・吸着式血液浄化法 ・血球成分除去療法	0.2回/月・床以上	8回/月以上	47.4%	2.4%	0.5%	0.0%	0.0%
全身管理	J	全身管理への対応に係る諸項目（下記の合計） ・観血的動脈圧測定(1時間超) ・ドレーン法 ・胸腔穿刺 ・人工呼吸(5時間超)	8.0回/月・床以上	320回/月以上	61.1%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%
上記A～Jのうち1つ以上を満たす					90.5%	14.7%	3.2%	5.3%	0.0%

※…主たる診療科が産科・産婦人科・小児科・小児外科であるものを除く。



(参考) 平成30年度該当病床割合



(参考) 平成29年度該当病床割合

急性期・回復期の区分（区分線2）の指標

○急性期一般入院料1（従前の一般病棟7:1）にて多く提供されている医療

- K：【手術】手術
- L：【手術】胸腔鏡・腹腔鏡下手術
- M：【がん】放射線治療
- N：【がん】化学療法
- O：【救急】救急搬送による予定外の入院

○一般病棟や地域包括ケア病棟で共通して用いられている指標

■ P：【重症度、医療・看護必要度】

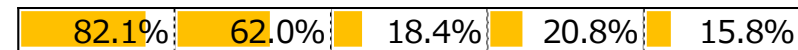
基準（「A得点2点以上かつB得点3点以上」「B14又はB15に該当する患者であって、A得点が1点以上かつB得点が3点以上」「A得点3点以上」「C得点1点以上」）を満たす患者割合

→これらの医療内容に関する稼働病床数当たりの算定回数を指標に用い、しきい値を設定。

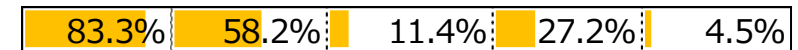
区分線2で急性期に分類される病棟の割合（令和元年度報告）

区分線2で急性期に分類する要件			しきい値		該当する病棟の割合				
			稼働病床1床当たりの月間の回数	40床の病棟に換算した場合	急性期一般病棟1,一般病棟7:1(※)	急性期一般病棟2-7,一般病棟10:1(※)	その他一般病棟(※)	有床診の一般病床(※)	地域包括ケア病棟
手術	K	手術	2.0回/月・床以上	80回/月以上	8.4%	3.2%	4.8%	18.8%	0.0%
	L	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	0.1回/月・床以上	4回/月以上	21.1%	12.8%	0.0%	2.3%	0.0%
がん	M	放射線治療（レプト枚数）	0.1枚/月・床以上	4枚/月以上	8.7%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	N	化学療法（日数）	1.0日/月・床以上	40日/月以上	15.5%	3.2%	0.0%	1.5%	0.0%
救急	O	予定外の救急医療入院の人数	10人/年・床以上	33.3人/月以上	20.3%	11.2%	4.8%	0.0%	1.7%
重症度等	P	一般病棟用の重症度、医療・看護必要度を満たす患者割合	I:30%以上 II:25%以上		67.1%	45.6%	14.3%	0.0%	11.9%
上記K～Pのうち1つ以上を満たす					82.6%	60.0%	22.2%	21.1%	13.6%

※…主たる診療科が産科・産婦人科・小児科・小児外科であるものを除く。



(参考) 平成30年度該当病床割合



(参考) 平成29年度該当病床割合

令和元年度病床機能報告 定量基準分析結果【埼玉県全体】

4機能区分別の病床稼働率について、「(国の基準による)地域医療構想における想定%」と「今回の区分結果の%」との比較表示をしている。

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	95病床	661人/日	914床	71.8%	3.7日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病床・地域包括ケア病床等	高度急性期	67病床	2,203人/日	2,616床	84.2%	10.2日	
		急性期	371病床	12,740人/日	15,716床	80.9%	12.2日	
	回復期リハビリ病床	回復期	266病床	7,122人/日	10,009床	72.3%	17.2日	
		回復期	79病床	3,305人/日	3,692床	88.9%	67.6日	
	特殊疾患病床・障害者施設等	慢性期	66病床	2,664人/日	3,073床	86.8%	107.1日	
	医療療養病床	慢性期	183病床	7,656人/日	8,684床	89.2%	211.4日	
介護療養病床	慢性期	9病床	410人/日	471床	86.4%	242.7日		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	27病床	278人/日	423床	67.8%	14.8日	
	産科の一般病床	急性期	85病床	1,446人/日	2,116床	75.7%	6.4日	
小児	小児入院管理科・小児科の一般病床等	高度急性期	14病床	332人/日	415床	80.1%	6.9日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	16病床	276人/日	508床	57.2%	5.7日	
		回復期	3病床	30人/日	72床	42.2%	6.6日	
緩和ケア	緩和ケア病床	急性期	3病床	50人/日	61床	82.1%	22.5日	放射線治療の実施がある病床を急性期、ない病床を慢性期とする
		慢性期	12病床	184人/日	257床	69.2%	23.8日	
その他	不明	不明/休棟	33病床	236人/日	592床	40.5%	18.5日	
	休棟・休床中	不明/休棟	45病床	48人/日	993床	5.0%	19.1日	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	3,474人/日	75.0%	79.9%
急性期	14,511人/日	78.0%	79.8%
回復期	10,457人/日	90.0%	76.8%
慢性期	10,914人/日	92.0%	88.2%
不明	284人/日	—	17.6%
合計	39,640人/日	—	79.0%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病床	88.9%
うち産科・小児科を除く急性期一般病床1、一般病床7:1	82.7%
うち産科・小児科を除くその他の一般病床	67.7%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病床等	71.4%
うち産科・小児科を除く有床診療所	56.7%
うち小児科の一般病床・有床診療所	42.2%

4機能ごとに集計

4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	203病床	3,474人/日	4,368床	6,238床	5,528床	79.9%	7.6日
急性期 計	475病床	14,511人/日	18,401床	24,763床	17,954床	79.8%	11.0日
回復期 計	348病床	10,457人/日	13,773床	5,739床	16,717床	76.8%	22.6日
慢性期 計	270病床	10,914人/日	12,485床	12,874床	14,011床	88.2%	159.3日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	78病床	284人/日	1,585床	998床☆	—	17.6%	18.6日
全体	1,374病床	39,640人/日	50,612床	50,612床	54,210床	79.0%	16.9日

4機能区分	入院料に関する報告がない病床等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	293床
回復期	162床
慢性期	132床
休棟中・無回答	998床
	1,585床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定できないもの

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退棟患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病床を除いて算出。

4機能区分別の病床数について、「今回の区分結果」「病床機能報告」「地域医療構想の必要病床数」の3つを比較表示。

回復期については、入院料や診療科の種類によって、より細分化する形で、病床稼働率を表示。

令和元年度病床機能報告 定量基準分析結果【川越比企圏域】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	7病棟	75人/日	98床	70.1%	4.6日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	12病棟	374人/日	427床	89.6%	12.9日	
		急性期	42病棟	1,407人/日	1,786床	78.4%	12.2日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	40病棟	1,177人/日	1,591床	73.5%	17.1日	
		回復期	11病棟	500人/日	558床	89.7%	73.6日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	8病棟	341人/日	376床	89.4%	55.8日	
	医療療養病床	慢性期	30病棟	1,323人/日	1,421床	92.7%	251.9日	
介護療養病床	慢性期	1病棟	55人/日	61床	90.5%	230.3日		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	7病棟	129人/日	180床	67.2%	17.9日	
	産科の一般病床	急性期	11病棟	285人/日	317床	99.8%	6.6日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	3病棟	78人/日	104床	74.8%	7.1日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
		回復期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	2病棟	35人/日	50床	70.4%	31.6日	
その他	不明	不明/休棟	3病棟	0人/日	55床	0.1%	3.1日	
	休棟・休床中	不明/休棟	5病棟	0人/日	116床	0.0%	-	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	656人/日	75.0%	81.5%
急性期	1,692人/日	78.0%	81.3%
回復期	1,677人/日	90.0%	78.2%
慢性期	1,754人/日	92.0%	91.6%
不明	0人/日	-	0.0%
合計	5,778人/日	-	80.8%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	89.7%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	84.6%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	64.1%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	75.1%
うち産科・小児科を除く有床診療所	66.4%
うち小児科の一般病棟・有床診	-

4機能ごとに集計

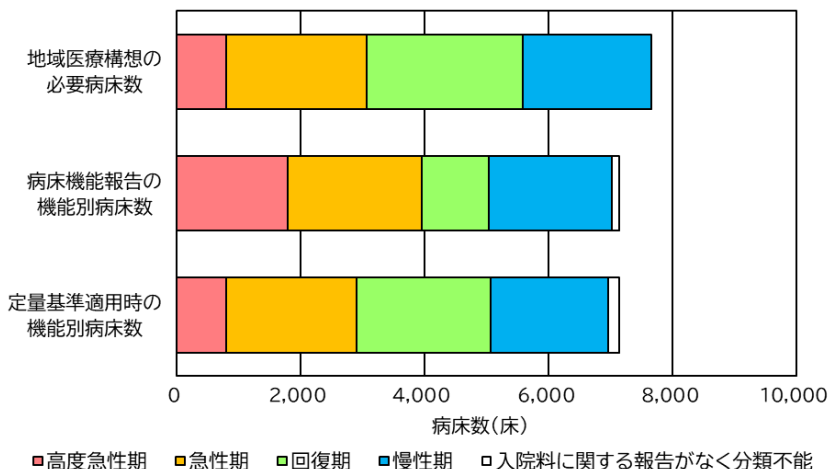
4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	29病棟	656人/日	809床	1,790床	802床	81.5%	11.2日
急性期 計	53病棟	1,692人/日	2,103床	2,161床	2,260床	81.3%	10.6日
回復期 計	51病棟	1,677人/日	2,149床	1,090床	2,518床	78.2%	23.0日
慢性期 計	41病棟	1,754人/日	1,908床	1,983床	2,072床	91.6%	169.4日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	8病棟	0人/日	171床	116床☆	-	0.0%	3.1日
全体	182病棟	5,778人/日	7,140床	7,140床	7,652床	80.8%	18.6日

4機能区分	入院料に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	21床
回復期	34床
慢性期	0床
休棟中・無回答	116床
	171床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出し・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新担当患者数」と「退院患者数」とが一致を前提に「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満、「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



【集計分析結果から想定される課題】

- ・ 定量基準適用時の機能別の病床数と、2025年における必要病床数との乖離は比較的小さい。
- ・ 県全体の傾向と同様、回復期の病床稼働率が2018年：69.5%→2019年：78.2%であり、依然として地域医療構想における想定病床稼働率(90%)よりも低い。回復期リハビリテーション病棟の稼働率は89.7%であることから、このような稼働率の低さは、回復期リハビリテーション病棟以外の回復期の病床によるものではないか。
- ・ 回復期のうち、軽症急性期を担う病床について、病床稼働率の向上を通じた需要増への対応が必要となるのではないか。
- ・ 病床機能報告での報告ベースでの高度急性期の病床数が多いため、高度急性期を担う病棟が満たすべき要件を明確化した上で、それをどの病院・病棟が担うかを整理することが必要ではないか。

(参考) 平成30年度病床機能報告 定量基準分析結果 【川越比企圏域】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	7病床	77人/日	98床	74.2%	4.7日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	6病床	163人/日	199床	79.1%	8.8日	
		急性期	50病床	1,722人/日	2,077床	81.0%	12.3日	
		回復期	39病床	898人/日	1,475床	58.7%	17.0日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	11病床	465人/日	560床	80.4%	67.4日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	8病床	345人/日	376床	92.8%	38.4日	
	医療療養病床	慢性期	30病床	1,321人/日	1,431床	92.1%	275.6日	
介護療養病床	慢性期	1病床	8人/日	61床	12.7%	44.3日		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	7病床	121人/日	180床	67.0%	16.3日	
	産科の一般病床	急性期	13病床	254人/日	335床	85.9%	6.4日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	3病床	79人/日	104床	75.6%	7.0日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	
		回復期	0病床	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	2病床	21人/日	50床	41.1%	19.1日	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	440人/日	75.0%	73.1%
急性期	1,976人/日	78.0%	81.7%
回復期	1,362人/日	90.0%	64.6%
慢性期	1,694人/日	92.0%	87.7%
不明	51人/日	—	29.7%
合計	5,522人/日	—	76.2%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	80.4%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	55.1%
うち産科・小児科を除く他の一般病棟	59.3%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	69.9%
うち産科・小児科を除く有床診療所	38.5%
うち小児科の一般病棟・有床診	-

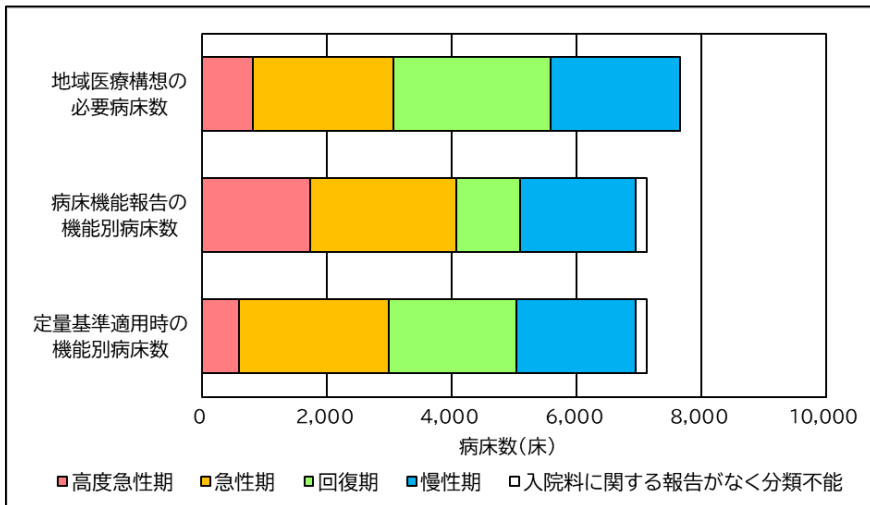
4機能ごとに集計

4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	23病床	440人/日	581床	1,726床	802床	73.1%	9.0日
急性期 計	63病床	1,976人/日	2,412床	2,342床	2,260床	81.7%	10.8日
回復期 計	50病床	1,362人/日	2,035床	1,024床	2,518床	64.6%	22.8日
慢性期 計	41病床	1,694人/日	1,918床	1,850床	2,072床	87.7%	145.4日
入院料に関する報告がなく分類できない病棟の病床(※)	5病床	51人/日	170床	174床※	-	29.7%	15.6日
合計等	182病床	5,522人/日	7,116床	7,116床	7,652床	76.2%	18.3日

4機能区分	入院料に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	97床
回復期	34床
慢性期	0床
休棟中・無回答	39床
	170床

※休棟中もしくは現在の機能に関する報告のない病床数。

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満、「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



【集計分析結果から想定される課題】

- 回復期について現在の病床数よりも、将来の必要病床数が大きく上回っている。
- 一方で、回復期の病床稼働率が、県平均と比べて低い(64.6%)。
- 回復期について、回復期リハビリテーション病棟と軽症急性期の両方について、病床稼働率の向上も含めて需要増への対応が必要ではないか。
- 病床機能報告での報告ベースでの高度急性期の病床数が多いことから、地域医療構想調整会議で協議を行う際には、高度急性期を担う病棟が満たすべき要件を明確化した上で、それをどの病院・病棟が担うかを整理することが必要ではないか。

(参考) 平成29年度病床機能報告 定量基準分析結果 【川越比企圏域】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	埼玉県計				川越比企圏域				備考
			該当病床数	1日当たり入院患者数	基準該当病床数	病床稼働率	該当病床数	1日当たり入院患者数	基準該当病床数	病床稼働率	
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	87病床	548人/日	835床	65.7%	7病床	70人/日	98床	71.1%	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病床・地域包括ケア病床等	高度急性期	67病床	1,858人/日	2,508床	74.1%	9病床	209人/日	272床	76.8%	
		急性期	343病床	11,780人/日	14,764床	79.8%	41病床	1,452人/日	1,764床	82.3%	
		回復期	262病床	6,604人/日	9,746床	67.8%	36病床	1,008人/日	1,428床	70.6%	
	回復期リハビリ病床	回復期	74病床	3,103人/日	3,448床	90.0%	11病床	488人/日	560床	87.1%	
	特殊疾患病床・障害者施設等	慢性期	59病床	2,457人/日	2,839床	86.5%	8病床	296人/日	376床	78.8%	
	医療療養病床	慢性期	172病床	6,921人/日	8,067床	85.8%	30病床	1,325人/日	1,418床	93.5%	
介護療養病床	慢性期	9病床	370人/日	464床	79.8%	0病床	0人/日	0床			
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	20病床	207人/日	342床	60.6%	7病床	127人/日	180床	70.6%	
	産科の一般病床	急性期	93病床	1,488人/日	2,260床	65.8%	14病床	254人/日	350床	72.7%	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病床等	高度急性期	11病床	183人/日	336床	54.5%	3病床	78人/日	104床	75.2%	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	16病床	308人/日	533床	57.9%	0病床	0人/日	0床		
		回復期	2病床	26人/日	47床	54.4%	0病床	0人/日	0床		
緩和ケア	緩和ケア病床	急性期	5病床	76人/日	114床	67.0%	0病床	0人/日	0床	放射線治療の実施がある病床を急性期、ない病床を慢性期とする	
		慢性期	7病床	82人/日	131床	62.7%	2病床	34人/日	50床		68.5%

4機能区分	埼玉県計				川越比企圏域				各医療機関が報告した病床数 (H29病床機能報告)	2025年の必要病床数 (地域医療構想)
	該当病床数	1日当たり入院患者数	基準該当病床数	病床稼働率	該当病床数	1日当たり入院患者数	基準該当病床数	病床稼働率		
高度急性期	185病床	2,797人/日	4,021床	69.6%	26病床	484人/日	654床	74.0%	1,752床	802床
急性期	457病床	13,652人/日	17,671床	77.3%	55病床	1,707人/日	2,114床	80.7%	2,344床	2,260床
回復期	338病床	9,733人/日	13,241床	73.5%	47病床	1,496人/日	1,988床	75.2%	997床	2,518床
慢性期	247病床	9,830人/日	11,501床	85.5%	40病床	1,656人/日	1,844床	89.8%	1,848床	2,072床
入院料に関する報告がなかつた病床の病床	35病床	102人/日	512床	20.0%	5病床	1人/日	60床	2.4%	—	—
休棟・病床機能報告に無回答の病床	—	—	—	—	—	—	—	—	363床	—
合計等	1,262病床	36,114人/日	46,946床	76.9%	173病床	5,343人/日	6,660床	80.2%	7,304床	7,652床

注：「合計等」欄の許可病床数の他に、病床機能報告に未報告部分がある・病床機能報告の様式1と様式2とが突合しない等の事由から、分析対象に含められない病床がある。

	埼玉県	川越比企
高度急性期	23床	0床
急性期	1,007床	247床
回復期	138床	0床
慢性期	1,251床	61床
休棟・未報告等	1,317床	336床
計	3,736床	644床

(参考) 未分析病床分 (各医療機関が報告した病床機能)

(参考) 平成30年度病床機能報告 定量基準分析結果【埼玉県全体】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	87病棟	590人/日	880床	67.4%	3.7日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	66病棟	2,026人/日	2,585床	77.4%	9.9日	
		急性期	368病棟	12,061人/日	15,540床	79.1%	12.1日	
		回復期	283病棟	6,694人/日	10,237床	68.1%	18.3日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	78病棟	2,980人/日	3,628床	89.9%	64.6日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	66病棟	2,568人/日	3,022床	83.0%	93.8日	
周産期	医療療養病床	慢性期	187病棟	7,561人/日	8,817床	87.4%	221.3日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
	介護療養病床	慢性期	16病棟	653人/日	802床	78.8%	265.8日	
	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	26病棟	265人/日	417床	62.6%	14.2日	
小児	産科の一般病床	急性期	94病棟	1,593人/日	2,267床	75.6%	6.7日	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		回復期	11病棟	273人/日	336床	81.2%	7.6日	
緩和ケア	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	急性期	17病棟	306人/日	531床	60.9%	5.7日	
		回復期	3病棟	17人/日	59床	40.7%	7.7日	
		慢性期	3病棟	62人/日	79床	78.7%	21.7日	
	慢性期	12病棟	123人/日	236床	56.2%	21.4日		

4機能ごとに集計

4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	190病棟	3,154人/日	4,218床	6,014床	5,528床	74.3%	7.6日
急性期 計	482病棟	14,021人/日	18,417床	25,138床	17,954床	78.1%	10.8日
回復期 計	364病棟	9,691人/日	13,924床	5,336床	16,717床	73.2%	23.1日
慢性期 計	281病棟	10,905人/日	12,877床	12,998床	14,011床	85.4%	159.2日
入院料に関する報告がなく分類できない病棟の病床(※)	53病棟	150人/日	1,130床	1,080床※		13.5%	11.8日
合計等	1,370病棟	37,921人/日	50,566床	50,566床	54,210床	76.7%	16.8日

※休棟中もしくは現在の機能に関する報告のない病床数。
 *「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	3,154人/日	75.0%	74.3%
急性期	14,021人/日	78.0%	78.1%
回復期	9,691人/日	90.0%	73.2%
慢性期	10,905人/日	92.0%	85.4%
不明	150人/日	—	13.5%
合計	37,921人/日	—	76.7%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	89.9%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7・1	74.0%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	68.5%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	75.2%
うち産科・小児科を除く有床診療所	42.4%
うち小児科の一般病棟・有床診療所	40.7%

4機能区分	入院料に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	5床
急性期	287床
回復期	73床
慢性期	62床
休棟中・無回答	703床
	1,130床

(参考) 平成29年度病床機能報告 定量基準分析結果 【埼玉県全体】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	基準該当病床数	病床稼働率	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	87病棟	548人/日	835床	65.7%	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	67病棟	1,858人/日	2,508床	74.1%	
		急性期	343病棟	11,780人/日	14,764床	79.8%	
		回復期	262病棟	6,604人/日	9,746床	67.8%	
	回復期リハビリ病棟	回復期	74病棟	3,103人/日	3,448床	90.0%	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	59病棟	2,457人/日	2,839床	86.5%	
	医療療養病床	慢性期	172病棟	6,921人/日	8,067床	85.8%	
介護療養病床	慢性期	9病棟	370人/日	464床	79.8%		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	20病棟	207人/日	342床	60.6%	
	産科の一般病床	急性期	93病棟	1,488人/日	2,260床	65.8%	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	11病棟	183人/日	336床	54.5%	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	16病棟	308人/日	533床	57.9%	
		回復期	2病棟	26人/日	47床	54.4%	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	5病棟	76人/日	114床	67.0%	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	7病棟	82人/日	131床	62.7%	

4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	基準該当病床数	病床稼働率	各医療機関が報告した病床数 (H29病床機能報告)	2025年の必要病床数 (地域医療構想)
高度急性期 計	185病棟	2,797人/日	4,021床	69.6%	6,365床	5,528床
急性期 計	457病棟	13,652人/日	17,671床	77.3%	24,702床	17,954床
回復期 計	338病棟	9,733人/日	13,241床	73.5%	4,830床	16,717床
慢性期 計	247病棟	9,830人/日	11,501床	85.5%	13,013床	14,011床
入院料に関する報告がなく分類できない病棟の病床	35病棟	102人/日	512床	20.0%	—	—
休棟・病床機能報告に無回答の病床	—	—	—	—	1,772床	—
合計等	1,262病棟	36,114人/日	46,946床	76.9%	50,682床	54,210床

注：病床機能報告に未報告部分がある・病床機能報告の様式1と様式2とが突合しない等の事由から、分析対象に含まれない病床が3,736床ある。

	埼玉県
高度急性期	23床
急性期	1,007床
回復期	138床
慢性期	1,251床
休棟・未報告等	1,317床
計	3,736床

(参考) 未分析病床分 (各医療機関が報告した病床機能)

各圏域の定量基準による機能別病床稼働率（令和元年度報告）

4機能区分	4機能区分まとめ					合計
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	不明	
埼玉県全体	79.9%	79.8%	76.8%	88.2%	17.6%	79.0%
南部	86.2%	84.7%	74.9%	85.9%	0.0%	81.0%
南西部	74.7%	78.3%	80.5%	91.7%	11.6%	81.2%
東部	64.5%	76.6%	78.1%	88.6%	9.6%	75.9%
さいたま	82.0%	83.1%	82.7%	84.0%	30.5%	80.9%
県央	84.5%	83.7%	71.1%	86.7%	29.5%	76.3%
川越比企	81.5%	81.3%	78.2%	91.6%	0.0%	80.8%
西部	85.1%	77.3%	77.5%	89.9%	26.3%	80.5%
利根	90.2%	76.7%	76.8%	86.5%	19.2%	78.0%
北部	66.8%	74.0%	69.3%	87.2%	0.0%	75.2%
秩父	-	81.6%	65.7%	74.7%	0.0%	68.9%

各圏域の定量基準による機能別平均在棟日数（令和元年度報告）

4機能区分	4機能区分まとめ					合計
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	不明	
埼玉県全体	7.6日	11.0日	22.6日	159.3日	18.6日	16.9日
南部	8.4日	11.1日	18.8日	118.6日	-	14.4日
南西部	9.7日	11.0日	23.3日	187.1日	127.4日	18.2日
東部	7.3日	10.3日	25.2日	162.0日	26.3日	17.2日
さいたま	7.0日	11.1日	25.5日	170.0日	35.8日	14.0日
県央	6.4日	12.5日	21.5日	119.2日	19.8日	15.8日
川越比企	11.2日	10.6日	23.0日	169.4日	3.1日	18.6日
西部	6.3日	11.1日	22.5日	221.2日	78.7日	20.3日
利根	6.8日	11.3日	21.9日	104.8日	3.1日	15.9日
北部	6.1日	11.3日	19.0日	161.8日	-	17.7日
秩父	-	14.5日	45.5日	94.6日	-	26.3日